



ロータリー：
変化をもたらす

Rotary



「楽しい例会、楽しく食事、健康な毎日で奉仕の実践」 山形南ロータリークラブ会報

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2800

RI会長：イアンH.S.ライズリー 2800地区ガバナー：鈴木 一作 ガバナー補佐：鈴木 政康
 会長：伊勢 和正 幹事：石山 祐介 会報・史料委員会 委員長：間木野仁美
 委員：金田 亮一 谷池 正弘 鉄 浩二 鈴木 崇弘

第2196回例会

2017-11/21 (火) 天気 (曇り)

□ 例会場：ホテルキャッスル

□ 点 鐘：PM 12:30 伊勢 和正 会長

□ 司会進行 (SAA)：佐藤 直人 君

□ ロータリーソング：「我等の生業」

会長挨拶



皆さんこんにちは。先日11月12日は寒河江市におきまして第2800地区の地区大会が開催され27名の会員の皆様に、日曜日の大変お忙しい中をご参加頂きました。誠に有難く心より厚く御礼を申し上げます。またその際、大久保章宏会員が晴れてガバナーノミニーに選出されました。大変なお役目とは存じますが、山形南ロータリークラブにとりましてはこの上ない名誉でもあり、是非頑張ってくださいと存じます。当日は国際ロータリー会長代理様やガバナー講話、特別記念講演など盛り沢山の内容で、他の会員の皆さんもお疲れ状態でしたが無事成功裡に終了致しました事をご報告申

上げます。

さて、チョットひとこと話ですが秋の山寺はとても趣があります。山寺立石寺の根本中堂ご本尊薬師如来様のご加護を受ける50年に一度の御開帳が2013年春に執り行われ期間中は数十万の参拝者が訪れました。次回は2063年とあまりに先で、昨今前倒し開催の気運が大きくなりつつあります。先例としては長野善光寺が昨今の観光ブームを背景に7年に一度の御開帳を行っており、もし山寺立石寺も7年毎の御開帳が実現すれば2020年のオリンピック開催年に御開帳の予定となります。すでに県・市の関係当局や山寺観光協会などがこの課題に取り組みつつありその成果が待たれます。でも肝心なのは立石寺清原貢主様のお考えなので、やはり地元上げての支援体制が重要と思われま

幹事報告

石山 祐介 幹事

1. 先週の12日(日)は地区大会が寒河江市市民文化会館で行われました。23名で参加いたしました。
2. 18日(土)に米沢上杉RCの55周年記念式典が行われました。会長、幹事、青山副会長と武田バスターガバナー、大久保ガバナーノミニーの5名が参加いたしました。
3. 来週の例会は29日(水)18時より三津屋本店での新そば例会となり、曜日と場所が変わりますのでご注意ください。

委員会報告

- ニコニコBOX 宮館 順治君
伊勢 和正君 地区大会への協力ありがとうございました。クリスマス家族会への協賛も重ねてお願いいたします。わが家へ3年ぶりにこたつが復活。嬉しさのあまり、こたつで寝てしまい、風邪をひいてしまいました。
- 石山 祐介君 結婚記念日のお花をいただきまして、ありがとうございました。
- 齋藤 伸治君 来月、クリスマス家族例会の際、プレゼント提供のご協賛、よろしくお願ひいたします。
- 鈴木 正則君 先日の卓話、話したいところまで話せず残念。間木野さん、不足部分を会報にまとめていただきありがとうございました。
- 三澤 寛君 先日の地区大会で、弊社のバスをご用意いただきありがとうございました。
- 宮館 順治君

○ 本日出席・前回修正出席

	会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日	53名		33名	
前回修正	53名	46名	44名	95.65%
他クラブで メイクアップ された会員	(米沢上杉創立55周年) 伊勢 和正 青山治右衛門 石山 祐介 大久保章宏 (山形東) 高梨 徹也 木村 政則 工藤 毅 山下 宏 神崎 祐子 土肥 成一			

※本日の結果は2週間後に報告 ※修正は2週間前の結果報告
 出席会員数÷算出会員数=出席率
 算出会員数とは？ 出席義務会員+メイク免除会員の出席者
 出席会員数とは？ 出席義務会員の出席者+メイク免除会員の出席者+メイク会員



本日のメニュー

安納芋のポタージュ
 サーモンソテー グリビッシュソース
 季節のサラダ
 ライス コーヒー

例会場／ホテルキャッスル 例会日／毎週火曜日 12:30～13:30

事務所／山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社 社務所ビル2F TEL.023-632-7777 FAX.023-624-5200

山形市内 例会日案内

月曜日

山形西 山形イブニング

火曜日

山形中央

水曜日

山形

木曜日

山形北

金曜日

山形東



『山形に嫁いで35年、今思うこと』

鈴木ルル様

今日はありがとうございます。何年ぶりかの講演会で緊張しますがよろしくお願いたします。35年辛いことも良いこともありました。今は4人も子供がいて辛いこともなく過ごしています。友達もいっぱいできました。その間4回タンザニアに帰りました。

今から15～16年前長男が中3の時主人を残して家族みんなでタンザニアに行きました。これからも行きたいけど子供と孫がたくさんいるのでなかなか帰ることができません。今年仕事でタンザニアに行こうって言われても行きたいと思わなかったです。オリンピックに向けて山形県や長井市で受け入れの準備をしていることの方がタンザニアに行くことより嬉しかったです。

山形県の人とはっきり言わない文化があるけど私は結構ハッキリ言う方です。最初は外国人が35年前は山形にほとんどいなくて学校の対応などが一番苦労しました。私の子供達の小さい頃は、いじめは現在のようにあまり社会問題化していませんでした。けど今は全国的にいじめの形が問題になっています。

2年前おばあちゃんが亡くなりました。子供達に何か怪我をしたり問題が起こった時、おばあちゃんは主人にしか言ってくれなくて私には隠して1週間してから分かったりすると家族なのになぜかな？！と思ひ辛かったことがあります。けど今はそれも文化だとわかりました。長井市は小さい町だからみんな一体感があり、日本に来て良かったなと思います。本当に今日はありがとうございました。



長井市総合政策課交流推進室
オリンピック・パラリンピックホストタウン担当

鈴木政輝様

皆様こんにちは。山形南ロータリークラブの皆様にお招きいただきまして、誠にありがとうございます。私は、先ほどご紹介いただきました長井市役所の総合政策課に勤めております。現在で8年目で、今回はこういった機会をいただきましたので、取り組みの紹介をさせていただきたいと思っております。最初にだいが母が緊張していたということで、私も、あがり症なんですけど現在、紹介にもありますが、私は4人兄弟の3番目で、全員成人しており、それぞれ独立しております。上の姉二人は山形県内の方と結婚しておりますし、私と弟は、まだ独身でありますので、嫁さん募集中ですが、弟も県外のほうに今いて、一人でがんばっているという状況です。

本日、皆様に三つの資料をお持ちいたしました。一つは谷口様からもご紹介いただきましたが、私の姉です。四人兄弟の一番上の長女ですが、そちらが平成10年に、タンザニアの格言であります言葉を用いて学校の出来事なんかをスピーチした内容で当時の弁論大会で一番になった時の資料と、その時の審査員の方のお講評も載せた資料を本日お持ちしました。

長井市ではオリンピック、2020年のオリンピックに向けてタンザニアのホストタウンに、昨年の12月に政府から登録を受けました。このホストタウン、ご存知の方も多いかもかもしれませんが、ちょっと簡単に紹介しますと、2020年のオリンピックの開催に向けて、政府が開催地の東京都だけではなく、その開催効果というものを経済的な文化的な、いろんな意味で波及させていこうという趣旨のもと、自治体が、相手国を、パートナーを見つけてその国と交流してオリンピックを盛り上げていくと。そしてオリンピックの後も末永い交流につなげていくというような趣旨の制度でございます。長井市は昨年の12月にタンザニア連合共和国のホストタウンに登録を受けたということですが、山形市は、台湾とタイ、サモアと三か国受けております。実は山形県に登録されている自治体が、自治体数が全国一番とされます。間もなく第5次登録ですがこのあいだ新聞で白鷹町も申請の手を挙げたというふうな新聞報道がありました。この12月にでも、新たな登録が発表されるのではないかと考えております。現段階では山形県が静岡県と並んで多く登録されています。山形県にはオリンピックの担当大臣を務められた遠藤先生がおり、援護射撃もあり昨年登録にあたって何回か東京をお邪魔して、大使館とか中央省庁に駆けつけていただき、オリンピックに向けた機運づくりということで山形県、一生懸命取り組んでいるのではないのでしょうか。

長井市はタンザニアと相手国になったということで、こういった活動をしていくのかということ、一番大きなきっかけは、今日カラーでお渡ししている「あやめRePo」という、市報と別に、不定期でタブ

ロイド判の政策情報誌を発行しており、10月に発行された「あやめRePo」ですが長井市がホストタウンの取り組みをしていることについて解説した資料になります。谷口さんもしゃしゃしゃしゃですが、山形・タンザニア友好協会様の存在というのが一番大きいのかなと。その中に私の母であるとか、さまざまなきっかけがあった中で、この話を昨年の6月に谷口さんに飛び込み営業のような形で連絡させていただいた時があり、ぜひ協会としてもオリンピックに向けて何かできないかということで、お声をいただきました。そして、全面的な支援を受けて大使館につないでいただきたき登録に至っております。また私の父も国際協力機構JICAの青年海外協力隊でありましたが、現在もタンザニアにはJICAタンザニア事務所がございます。そこで今現在、駐在されているのが長井市出身の方が、今いらっしゃるということで、アポを取りましてぜひ協力したいというふうなことで、今回の登録につながっております。登録を受けたということで長井市もオリンピックに向けてさまざまな取り組みを行っていくんですけども、今年の10月1日から11日の日程で長井市長を団長とする市民訪問団でタンザニアを訪問してまいります。私、人生で2度目のタンザニア訪問になるわけですけども、タンザニアに訪問してオリンピックの事前合宿誘致ということでタンザニアのスポーツ省とか、あとは五輪委員会とか、あとは陸上連盟とかそういった競技団体の方とお会いし、タンザニアのJICA事務所とか日本大使館におじゃまして、どういったことができるかとか、お話をさせていただきました。その中で事前合宿をしましょうということで、覚書を結びましょうということになりました。案文をこちらで作成しますので、それに向けて山形調印式ができればいいねというようないい成果が出せたところでございます。今回、山形新聞の長井支社長さんと一緒に同行されたということで山形新聞の社説に掲載されたばかりです。私は本当に山形県とタンザニアのつながりというものが本当にこれから大切になっていくのではないかなと思います。今回のリオ五輪では7名の選手が出場しています。陸上競技、水泳、競泳です。競泳、そして柔道と三種目です。その中で有力な選手が一人おりまして、リオ五輪で五位に入賞したシンプ選手（アルフォンス・シンプ：補足）です。この選手は、今年の夏行われたロンドンの世界陸上で三位になっております。このままいくと東京ではメダルも狙えます。

JICAの方を中心に、タンザニアで野球の普及プロジェクトというのが政府のプロジェクト、日本政府のプロジェクトとして大々的に進んでいます。これも、そんなに野球は、アフリカ大陸の国々では活発ではないので、世界大会に出れるような予選の枠が少ない事情がございます。タンザニア甲子園なるものが毎年12月に開催されて、今年も12月に開催されているということですが、甲子園という名を冠したタンザニアの高校生の全国大会が行われているということで、そういう人たちがだんだん強化選手になっていって、もしかしたら東京オリンピックの野球競技には出れたらいいなと思います。野球の競技の一部は、お隣福島県でも行われるというふう聞いておりますので、私も4年間学生時代福島市で過ごしましたので、そういった意味でも福島市でタンザニアチームが野球している、できれば日本と戦ってほしいな、なんていうふうな淡い期待もありますが、今でも夢のある楽しいお仕事をさせていただいております。こういった仕事ということがきっかけになりますけれども、きっかけにですね、さらにタンザニアと日本、山形、長井の交流を進めていければなというふう考えている次第です。本日はありがとうございました。